

3 バレーボール 総評

第61回県高校総体は、高崎市さわやか交流館、アイオーしんきん伊勢崎アリーナ、伊勢崎市第二市民体育館、太田市運動公園市民体育館、群馬体育館、桐生ガススポーツセンター、ヤクルトグリーンアリーナを会場に、5月6日、9日～10日の3日間の日程で開催された。参加校は男子33校、女子42校で、男女ともに前回大会と比較して1チーム減少したが、近年のバレーボール人気の影響もあり、登録人数に関してはほぼ横ばいとなっている。

3日間、公共体育館施設を借用して開催したが、顧問の先生方や選手たちの協力により円滑に試合会場の準備を終えることができ、予定どおりのスケジュールで競技を進めることができた。

大会成績については、男子では1月の新人大会ベスト4である高崎、前商、太田、桐商が順当に最終ラウンドへ勝ち進み、決勝戦は新人大会優勝の高崎と、準決勝で第2シードの前商をフルセットの末に破った桐商が対戦した。第1セットは桐商が好守備からリズム良く得点を重ね、序盤から高崎に大差をつける展開が見られたが、中盤以降、地力に勝る高崎が逆転して第1セットを先取すると、そのまま第2セットも連取し、2年ぶり5回目の優勝を果たした。

女子においても、新人大会ベスト4の高女、商大附、健大高崎、西邑楽が最終ラウンドに勝ち進み、決勝は新人大会に続いて県総体2連覇を目指す高女と、準決勝で第2シードの商大附を接戦の末に破った健大高崎との対戦となった。第1セット、第2セットともに接戦となったが、わずかに決定力で勝った高女が接戦をものにし、2年連続6回目の優勝を果たした。

男女ともに好試合が多く、今後さらなる競技力向上が期待できる大会となった。6月に開催される関東大会は、男子が渋谷区、女子が東金市で開催される。今大会の上位4チームが出場するが、関東大会ベスト8以上を目標に善戦を期待したい。

結びに、今大会の会場運営に御協力いただいた高崎市、伊勢崎市、太田市、桐生市、みどり市、さらに大会運営に御尽力いただいた関係各位に心より感謝申し上げます、報告とする。

